

南知多町学校施設長寿命化計画(案)
概要版

令和3年3月
南知多町教育委員会

1. 学校施設長寿命化計画の背景、目的

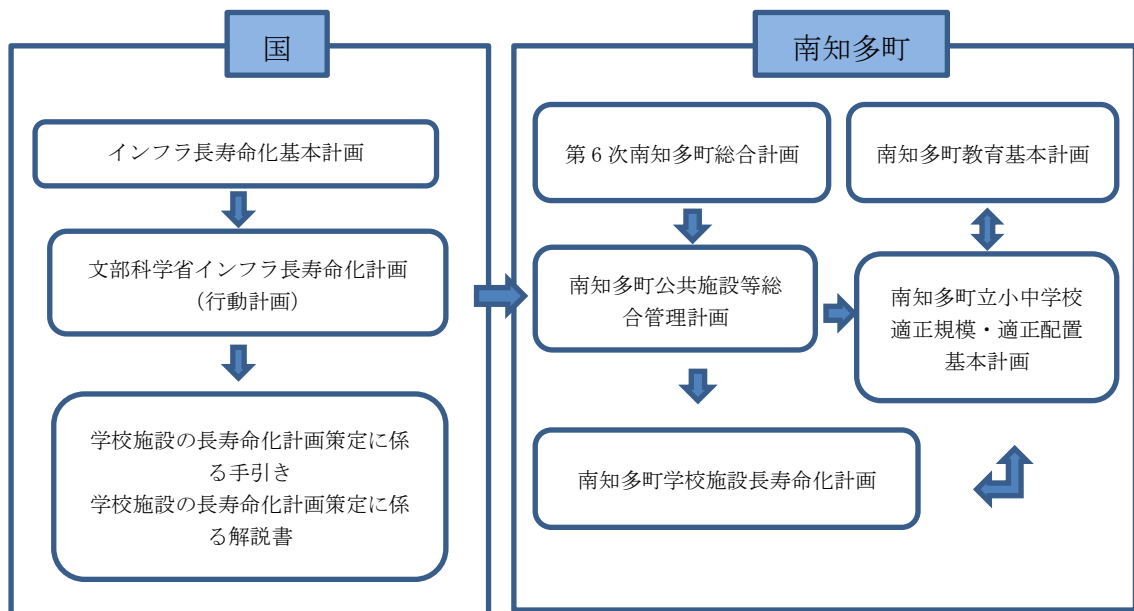
(1) 目的

「南知多町学校施設長寿命化計画」（以下「本計画」という。）は、学校施設の老朽化状況等を把握したうえで、学校規模の適正化、統廃合の進行状況を踏まえながら、長寿命化できるものは長寿命化し、中長期的な維持管理等に係る財政負担の縮減及び予算の平準化を図りつつ、今後の学校施設の維持・管理・更新等を進めていくことを目的とするものです。

(2) 計画の位置づけ

本計画は、南知多町のまちづくりに関する最上位計画である「第6次南知多町総合計画」や「南知多町公共施設総合管理計画」、「南知多町教育基本計画」、「南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画」等との整合を図りながら、学校施設整備の基本的な方針や水準を示し、学校施設の長寿命化を図る計画として位置づけます。

なお、中学校施設の規模・配置計画について、現在、「南知多町立中学校適正配置実施計画」を作成中であるため、今後、中学校の適正な配置について新たな考え方がまとまった場合には、本計画の修正の必要性を含め検討することとします。



(3) 計画期間

令和 3（2021）年度から令和 42（2060）年度とし、このうち第 1 期実施計画を、予算措置を考慮した令和 3（2021）年度から令和 12（2030）年度までの 10 年間とします。

なお、以後 10 年ごとに事業の進捗状況・児童生徒数の推移・町財政運営状況などを踏まえ、見直しを行うことを基本とします。

(4) 対象施設

本計画における対象施設は、小学校 6 校、中学校 5 校とします。

2. 学校施設の目指すべき姿

(1) 適正規模と適正配置に配慮した安全・安心な学校施設

人口減少、児童生徒数の減少は避けることのできない課題ですが、児童・生徒が安全で安心して通学でき、学べる学校施設にしていくことが優先されます。

(2) 教育環境、教育の質の向上

安全・安心の学校施設とするとともに、確実な学力を身につけるための多様な教育環境（少人数教室、多目的教室など）を確保し、教師等、児童生徒間の交流が可能な環境と設備等が確保できるような整備を進めます。

(3) 計画的・効率的でかつ持続可能な学校施設整備と運営

対処的対応でなく計画的に、かつ持続可能な整備、運営を図ることを目指します。

(4) 地域コミュニティの核として機能する学校施設

学校施設は災害時には避難場所等になるため、防災機能を充実させ、周辺住民が利用しやすいようバリアフリー化を図り、地域コミュニティの核となることを目指します。

3. 人口・児童生徒数の推移と学校施設の概要

3. 1. 学校施設の配置状況

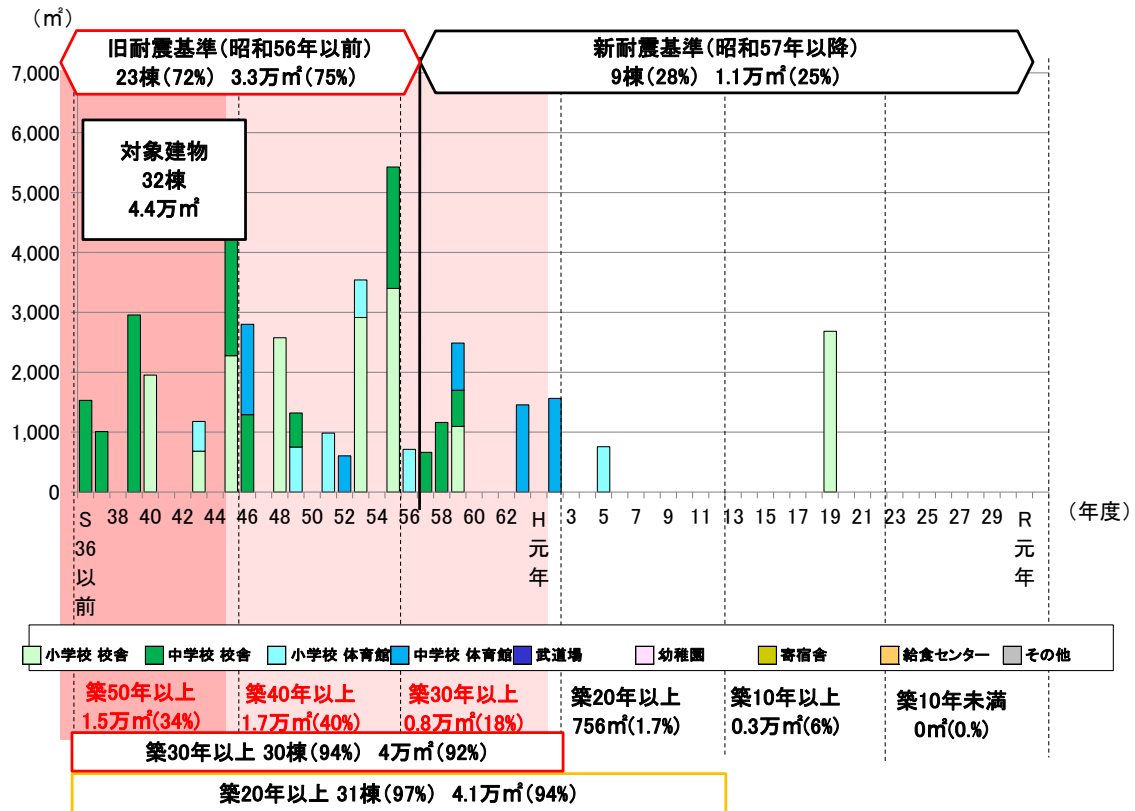
(1) 構造、築年数、保有面積

建物基本情報

通し 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延べ床 面積	建築年		築年数
							西暦	和暦	
4	豊浜小学校	北校舎	15	RC	3	2,684	2007	H19	13
14	篠島小学校	屋内運動場	18	RC	1	756	1993	H5	27
26	師崎中学校	屋内運動場	22	RC	2	1,562	1990	H2	30
19	内海中学校	屋内運動場	8	RC	2	1,454	1988	S63	32
8	大井小学校	特別教室棟	8	RC	3	1,094	1984	S59	36
31	日間賀中学校	北特別教室棟	15	RC	3	605	1984	S59	36
32	日間賀中学校	屋内運動場	20	RC	2	788	1984	S59	36
25	師崎中学校	西特別教室棟	17	RC	2	1,162	1983	S58	37
18	内海中学校	特別教室棟	6	RC	3	663	1982	S57	38
9	大井小学校	屋内運動場	7	RC	2	713	1981	S56	39
2	内海小学校	特別教室棟	18	RC	2	932	1980	S55	40
10	師崎小学校	本校舎	10	RC	3	2,467	1980	S55	40
27	篠島中学校	本校舎	15	RC	5	2,027	1980	S55	40
3	内海小学校	屋内運動場	17	RC	2	626	1978	S53	42
5	豊浜小学校	南校舎	10	RC	3	1,692	1978	S53	42
13	篠島小学校	本校舎	14	RC	3	1,223	1978	S53	42
28	篠島中学校	屋内運動場	12	RC	2	604	1977	S52	43
16	日間賀小学校	屋内運動場	9	S	2	984	1976	S51	44
6	豊浜小学校	屋内運動場	8	RC	2	752	1974	S49	46
30	日間賀中学校	西特別教室棟	11	RC	3	568	1974	S49	46
1	内海小学校	本校舎	15	RC	3	2,577	1973	S48	47
21	豊浜中学校	特別教室棟	2	RC	3	1,291	1971	S46	49
22	豊浜中学校	屋内運動場	5	RC	2	1,509	1971	S46	49
15	日間賀小学校	本校舎	1	RC	3	2,277	1970	S45	50
20	豊浜中学校	本校舎	1	RC	3	3,296	1970	S45	50
24	師崎中学校	東特別教室棟	2	RC	2	605	1970	S45	50
11	師崎小学校	特別教室棟	1	RC	2	681	1968	S43	52
12	師崎小学校	屋内運動場	8	RC	2	496	1968	S43	52
7	大井小学校	本校舎	1	RC	3	1,951	1965	S40	55
17	内海中学校	本校舎	1	RC	3	2,956	1964	S39	56
29	日間賀中学校	本校舎	1	RC	2	1,008	1962	S37	58
23	師崎中学校	本校舎	1	RC	2	1,531	1960	S35	60
						43,534			

旧耐震基準棟は23棟3.3万㎡、新耐震基準棟は9棟1.1万㎡計32棟4.4万㎡で、75%が旧耐震基準の建物です。

築年別整備状況



3. 2 児童生徒数等の状況

(1) 人口推移及び将来児童生徒数

① 地区別児童数及び生徒数の推移予測

小学生(単位:人)

	H27年	R2年	R7年	R12年	R17年	R22年	R27年
内海小	202	209	145	121	101	87	72
豊浜小	181	157	108	112	94	80	64
大井小	93	69	59	58	46	37	28
師崎小	90	61	47	30	22	16	12
篠島小	78	84	70	61	55	49	43
日間賀小	111	98	96	71	65	59	54
計	755	678	525	453	383	328	273

中学生(単位:人)

	H27年	R2年	R7年	R12年	R17年	R22年	R27年
内海中	123	89	104	66	62	52	45
豊浜中	118	77	85	53	52	45	38
師崎中	108	93	58	53	40	32	24
篠島中	48	37	42	35	27	25	22
日間賀中	63	63	44	43	31	28	26
計	460	359	333	250	212	182	155

※平成27年度、令和2年度児童数は実数、令和7年度児童数は令和元年5月1日現在の住民基本台帳による見込み数値、令和12年度～令和17年度の児童数は、2015年の国勢調査等による実績をもとに、国土交通省・国土技術施策総合研究所に「将来人口・世帯予測ツールV2(H27国調対応版)」を用いた計算結果を加工して作成したものである。なお大字片名新師崎地区の児童数は大井小学校に計上している。

3. 3 老朽化状況の実態整理

学校施設の健全度評価を通じて、老朽化の状況の実態把握を行います。

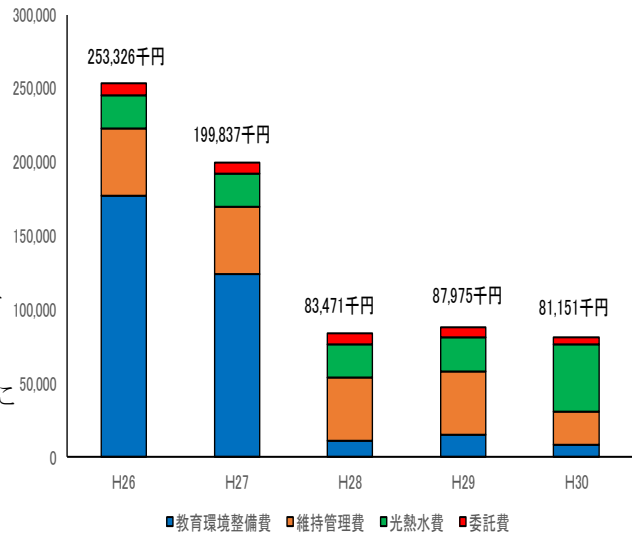
■健全化判定の結果

通し番号	学校調査番号	建物基本情報											構造躯体の健全性						劣化状況評価						
		施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分						
1	1881	内海小学校	本校舎	15		小学校	校舎	RC	3	2,577	1973	S48	47	旧	済	済	H17	16.7	長寿命	B	C	B	C	C	56
2	1881	内海小学校	特別教室棟	18		小学校	校舎	RC	2	932	1980	S55	40	旧	-	-	-	-	長寿命	B	C	C	B	B	52
3	1881	内海小学校	屋内運動場	17		小学校	体育館	RC	2	626	1978	S53	42	旧	済	済	-	-	長寿命	C	B	C	C	C	50
4	1883	豊浜小学校	北校舎	15		小学校	校舎	RC	3	2,684	2007	H19	13	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	A	A	84
5	1883	豊浜小学校	南校舎	10		小学校	校舎	RC	3	1,692	1978	S53	42	旧	済	済	H17	20.2	長寿命	B	B	B	C	C	66
6	1883	豊浜小学校	屋内運動場	8		小学校	体育館	RC	2	752	1974	S49	46	旧	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	C	C	66
7	1885	大井小学校	本校舎	1		小学校	校舎	RC	3	1,951	1965	S40	55	旧	済	済	H17	17.2	長寿命	B	B	C	C	C	53
8	1885	大井小学校	特別教室棟	8		小学校	校舎	RC	3	1,094	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	49
9	1885	大井小学校	屋内運動場	7		小学校	体育館	RC	2	713	1981	S56	39	旧	-	-	-	-	長寿命	D	C	D	B	B	35
10	1886	師崎小学校	本校舎	10		小学校	校舎	RC	3	2,467	1980	S55	40	旧	済	済	H17	29	長寿命	A	B	B	B	B	77
11	1886	師崎小学校	特別教室棟	1		小学校	校舎	RC	2	681	1968	S43	52	旧	済	済	H17	20.8	長寿命	B	C	B	C	C	56
12	1886	師崎小学校	屋内運動場	8		小学校	体育館	RC	2	496	1968	S43	52	旧	済	済	H17	17.6	長寿命	A	B	B	B	B	77
13	1887	篠島小学校	本校舎	14		小学校	校舎	RC	3	1,223	1978	S53	42	旧	済	済	H17	17.1	長寿命	B	B	B	C	C	66
14	1887	篠島小学校	屋内運動場	2		小学校	体育館	RC	1	756	1993	H5	27	新	-	-	-	-	長寿命	B	D	B	C	C	47
15	1888	日間賀小学校	本校舎	1		小学校	校舎	RC	3	2,277	1970	S45	50	旧	済	済	H17	21.3	長寿命	B	B	B	C	C	66
16	1888	日間賀小学校	屋内運動場	9		小学校	体育館	S	2	984	1976	S51	44	旧	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	C	C	85
17	4346	内海中学校	本校舎	1		中学校	校舎	RC	3	2,956	1964	S39	56	旧	済	済	H17	20	長寿命	A	A	A	C	C	85
18	4346	内海中学校	特別教室棟	6		中学校	校舎	RC	3	663	1982	S57	38	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
19	4346	内海中学校	屋内運動場	8		中学校	体育館	RC	2	1,454	1988	S63	32	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	B	B	86
20	4347	豊浜中学校	本校舎	1		中学校	校舎	RC	3	3,296	1970	S45	50	旧	済	済	H17	18.4	長寿命	A	A	A	C	C	85
21	4347	豊浜中学校	特別教室棟	2		中学校	校舎	RC	3	1,291	1971	S46	49	旧	済	済	H17	21.7	長寿命	B	A	A	C	C	83
22	4347	豊浜中学校	屋内運動場	5		中学校	体育館	RC	2	1,509	1971	S46	49	旧	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	B	C	75
23	4348	師崎中学校	本校舎	1		中学校	校舎	RC	2	1,531	1960	S35	60	旧	済	済	H17	16.5	長寿命	B	A	B	C	C	73
24	4348	師崎中学校	東特別教室棟	2		中学校	校舎	RC	2	605	1970	S45	50	旧	済	済	H17	29	長寿命	A	A	B	C	C	75
25	4348	師崎中学校	西特別教室棟	17		中学校	校舎	RC	2	1,162	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84
26	4348	師崎中学校	屋内運動場	22		中学校	体育館	RC	2	1,562	1990	H2	30	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	B	B	94
27	4349	篠島中学校	本校舎	15		中学校	校舎	RC	5	2,027	1980	S55	40	旧	済	済	H17	20.9	長寿命	A	B	B	B	B	77
28	4349	篠島中学校	屋内運動場	12		中学校	体育館	RC	2	604	1977	S52	43	旧	済	済	H17	19.4	長寿命	B	B	B	C	C	66
29	4350	日間賀中学校	本校舎	1		中学校	校舎	RC	2	1,008	1962	S37	58	旧	済	済	H17	13.9	長寿命	A	A	B	C	C	75
30	4350	日間賀中学校	西特別教室棟	11		中学校	校舎	RC	3	568	1974	S49	46	旧	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84
31	4350	日間賀中学校	北特別教室棟	15		中学校	校舎	RC	3	605	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	C	C	58
32	4350	日間賀中学校	屋内運動場	20		中学校	体育館	RC	2	788	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84

3. 4 学校施設関連経費の状況

(1) 施設整備費・維持管理費

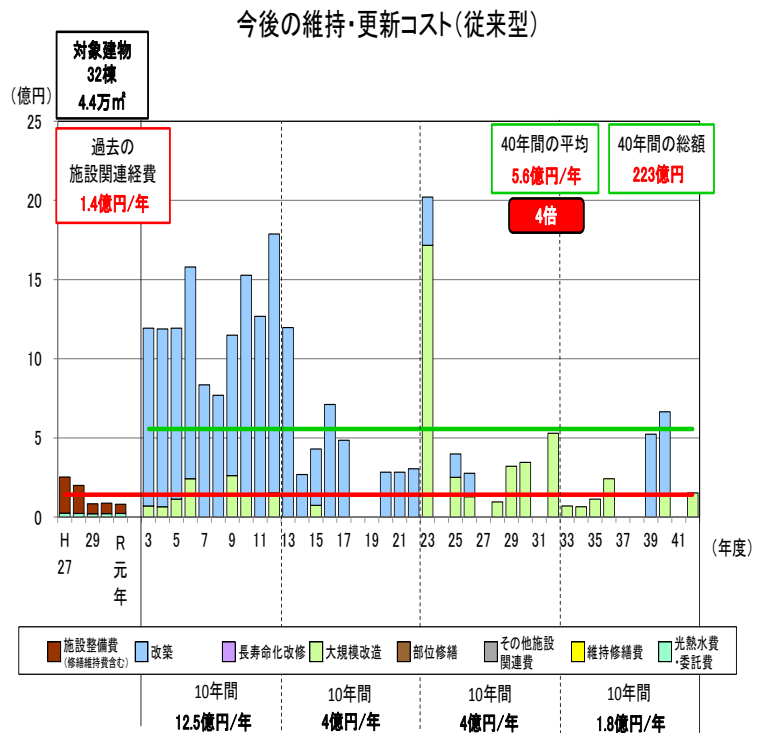
過去5年間の施設整備費（教育環境整備費）、維持管理費、光熱水費等は以下のとおりです。施設整備費は平成26年と平成27年はおおよそ1.2億～1.7億円、平成28～30年はおおよそ1.0千万～1.4千万円ですが、平成30年度はおおよそ7百万円であり、施設整備費によりその占める割合は大きな影響を受けています。



3. 5 今後の維持管理コスト

(1) 維持管理コスト、修繕更新コスト

従来、築50年で改築（建替え）をすることで、生じる維持・修繕更新コストは今後10年間で12.5億円、その後10～20年後は4.0億円となることがわかります。40年間の年平均金額は過去の施設関連経費の4.0倍になると推測されます。



※上記の維持更新コストは、費用試算をもとに、「従来型」と「長寿命化型」のコスト比較をするために試算したもの。よって実際の整備予定や予算を示すものではありません。

4. 基本的な方針

(1) 施設の基本方針

①教育の質向上と機能の整備そして適正化

ア. 児童生徒数の推移変化や教育内容の変化に対応した教育の質向上を求める

将来的に児童生徒数の減少が見込まれ、また学習指導要領の改訂により教育内容にも変化が予想されます。量的変化と質的变化にも対応した学校施設を適正に判断し、適正立地の検討を行います。

イ. 適正規模と適正配置を図る

将来的に児童生徒数の減少することが見込まれていますが、各校における児童生徒数の見込みに合わせた適正な教室数と適正な規模を検討し、教育内容に対応した施設と設備に配慮し、かつ良好な教育環境となる学校施設としていきます。

②施設の長寿命化と予防保全に取り組む

ア. 「改築」中心から「長寿命化」へ

新築後 50 年後に改築するという「改築」から「長寿命化」に移行させることにより、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減や改築時期の分散による予算の平準化を行います。

イ. 「事後保全」から「予防保全」へ

安全・安心な教育環境を確保するため、改修の標準周期を求め、事後対処的な改修から予防保全的な改修へと転換し、効果的・効率的な改修を行います。

(2) 目標耐用年数の設定

従来は 40～50 年間建物として使用し、経年による機能・性能の劣化により、改築するというしくみをとってきましたが、建物として長寿命化改修を導入することで 70～80 年使用していこうと大きな転換を図っていくのが「長寿命化」の考え方です。

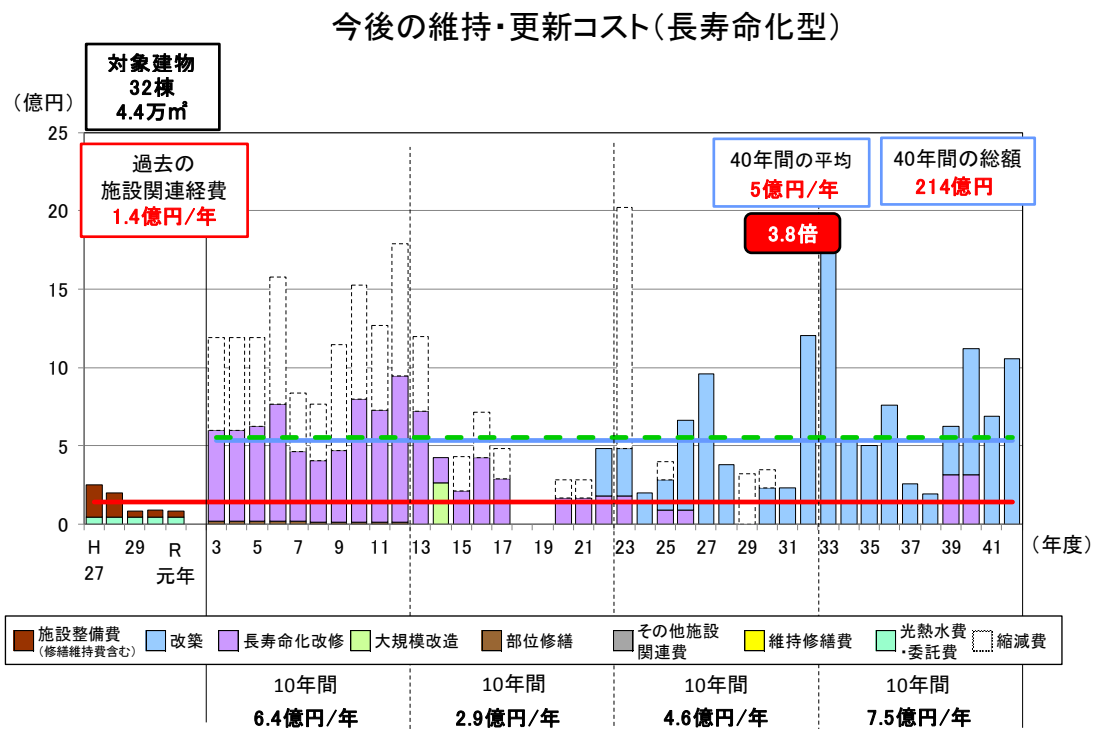
長寿命化を導入していくためには「学校施設の目標耐用年数」を設定する必要があります。

愛知県立学校施設長寿命化計画（2019 年 3 月）に即し、目標耐用年数 80 年とする

(3) 長寿命化のパターン検討

築 25 年に大規模改修を行い、築 50 年に長寿命化改修そして築 80 年に改築（建替え）

もっとも改修事業費の負担が大きいのは今後 10 年間で年 6.4 億円を要しますが、築 40 年に長寿命化を行うより軽減化され、各年の改修事業費は平準化されています。



※上記の維持更新コストは、費用試算をもとに、「従来型」と「長寿命化型」のコスト比較をするために試算したもの。よって実際の整備予定や予算を示すものではありません

5. 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等

(1) 改修等の整備水準

大規模改造および長寿命化改修の整備水準を下記のとおり整理します。

■改修等の整備水準整理

項目	大規模改造	長寿命化改修
概要	経年劣化による消耗、機能低下に対する機能回復工事	経年劣化による機能回復工事と、耐用性、快適性、省エネ性を確保するための機能回復工事
屋根屋上	・既存防水の撤去・更新	左記、大規模改造整備水準に応じた中性化抑制対策と劣化補修 【RC造】 ・中性化の進行状況に応じた中性化抑制対策と劣化補修 コンクリートの中性化対策 鉄筋の腐食対策 鉄筋のかぶり厚さの確保 【S造】 ・鉄骨の腐食対策 ・接合部の破損の補修 ・エレベーターの更新
外壁 外部建具	・外壁のクラック等の補修、塗り直し ・外壁、外部建具周りのシーリングの撤去・新設 ・外部建具の更新（堅樋改修・強化ガラス化等）	
内壁 内部建具	・内部クラック等の補修・塗り直し ・内部仕上げは劣化状況に応じて修繕又は撤去・新設 ・内部建具の更新 ・教室内の棚・家具については劣化状況に応じて修繕又は撤去・更新	
電気設備	・照明器具のLEDへの更新 ・照明点検系統の細分化や人感センサー等の工夫による消費電力の低減 ・児童火災報知器、感知器・防災盤改修 ・受変電盤の改修 ・故障、不具合等の修繕等	
機械設備	・省エネルギー効果の高い機器への更新 ・受水槽、給排水管の撤去・更新 ・各階トイレの洋式化、乾式床への更新 ・ランニングコスト低減に配慮した機器への更新	
安全機能	・書棚やロッカーの転倒防止対策、耐震化 ・ICT教材を使用するための設備の整備 ・防犯カメラの設置 ・フェンス等の設置による外部領域との明確化	

6. 長寿命化の実施計画の策定

6.1. 劣化状況等による優先順位の設定

(1) 優先順位

① 優先順位の考え方

- ア. 健全度 40 未満、劣化状況 D 判定の建物については 5 年以内の改修が求められる
 イ. 築 13 年豊浜小学校北校舎以下、32 棟すべての建物が長寿命化改修の対象となる

② 優先順位の設定

各棟別の優先順位

緊急改修	大井小学校屋内運動場 篠島小学校屋内運動場
------	--------------------------

	優先 順位	該当する学校	優先 順位	該当する学校
長 寿 命 化 改 修	1	師崎中本校舎	21	師崎小本校舎
	2	日間賀中本校舎	22	内海小特別教室棟
	3	内海中本校舎	23	大井小屋内運動場
	4	大井小本校舎	24	内海中特別教室棟
	5	師崎小屋内運動場	25	師崎中西特別教室棟
	6	師崎小特別教室棟	26	日間賀中屋内運動場
	7	師崎中東特別教室棟	27	日間賀中北特別教室棟
	8	豊浜中本校舎	28	大井小特別教室棟
	9	日間賀小本校舎	29	内海中屋内運動場
	10	豊浜中屋内運動場	30	師崎中屋内運動場
	11	豊浜中特別教室棟	31	篠島小屋内運動場
	12	内海小本校舎	32	豊浜小北校舎
	13	日間賀中西特別教室棟		
	14	豊浜小屋内運動場		
	15	日間賀小屋内運動場		
	16	篠島中屋内運動場		
	17	篠島小本校舎		
	18	豊浜小南校舎		
	19	内海小屋内運動場		
	20	篠島中本校舎		

※網掛けは緊急改修と重複

学校別の優先順位

	優先順位	該当する学校	優先順位	該当する学校
長 寿 命 化 改 修	1	師崎中本校舎 師崎中東特別教室棟 師崎中西特別教室棟 師崎中屋内運動場	9	豊浜小屋内運動場 豊浜小南校舎 豊浜小北校舎
	2	日間賀中本校舎 日間賀中西特別教室棟 日間賀中屋内運動場 日間賀中北特別教室棟	10	篠島中屋内運動場 篠島中本校舎
	3	内海中本校舎 内海中特別教室棟 内海中屋内運動場	11	篠島小校舎 篠島小屋内運動場
	4	大井小本校舎 大井小特別教室棟 大井小屋内運動場		
	5	師崎小屋内運動場 師崎小特別教室棟 師崎小本校舎		
	6	豊浜中屋内運動場 豊浜中特別教室棟 豊浜中本校舎		
	7	日間賀小本校舎 日間賀小屋内運動場		
	8	内海小本校舎 内海小屋内運動場 内海小特別教室棟		

6.2. 計画期間内の実施計画

上記の優先順位に基づき、改修計画を進めていくところですが、現在、小中学校適正規模適正配置を検討しています。現時点では、小学校の再編基本計画を策定し、中学校については、再編実施計画の策定途中の段階であり、今後の対応方策まで明確にすることができません。

計画期間内の実施計画については、本計画の上位計画である「南知多町公共施設等総合管理計画」の改訂、「中学校再編実施計画」に基づき、学校施設または町有施設全体に係る維持・更新等の財政負担の平準化の観点から、別途検討することとします。

また、長寿命型による維持・更新を実施していても、現状の小中学校の規模（11校）を維持するためには、40年間で平均1年あたり約5億円が必要となります。過去5年間の施設関連経費の平均約1億4千万円を大きく上回る費用が想定されます。ひっ迫した現在の財政状況を考えると大変厳しい状況です。事業実施にあたっては、学校施設の劣化度を踏まえ、長寿命化を図るうえで必要な部分を改修することなど、財政部門と協議を行いながら、費用の確保を目指していきます。その際、国庫補助等も適切に活用し、財政負担を軽減します。

学校施設の老朽化や、故障・不具合の発生状況は、それぞれの立地状況や施設の使われ方によって異なります。適切な調査や日常的な点検の実施によって学校施設の状態を把握し、実施計画に反映していきます。

7. 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

本計画を推進する上では、学校施設における情報の蓄積が重要となります。そのため、学校施設の施設基本情報や改修情報、修繕情報、さらに日常点検や各種点検情報を毎年更新しながら、予防保全型コスト算定や継続的な施設管理に活用できるように一元管理することとします。

(2) 推進体制等の整備

公共施設総合管理計画による全庁的な基準・方針を踏まえ、本計画を継続的に運用していくため、学校と連携しながら教育委員会が中心となって関係部署と協議・調整を行い、本計画の取組を進めていくこととします。

(3) 財源の確保

安全・安心で質の高い教育及び教育環境を維持するためには、財政支出面で大きな負担となることから、今後も国の補助事業や有利な地方債を積極的に活用し、財政負担の低減を図ることとします。

(4) フォローアップ

学校施設整備を進めていくためには、計画・目標(Plan)、実施(Do)、検証(Check)、見直し改善(Act)のPDCAサイクルを確立することが重要です。